3・4年生指導案交流

グループC

良いなと思う活動は **青** 付箋

質問・代替案は **赤** 付箋

3年生

定型（決まった流れ）に沿って、話し合いができる。

半具体物のお金が良い

テレビのタイマー

九九のプリントを自分たちで進められていた

ヒントカードの役割

個別に問題を用意している

「前書いてたからバクった」過去の話し合いが活かしている

話し合いはしていたが、交流の仕方にはまだ練習が必要。

話し合いのゴール...何ができたらいいか

まとめで「九九で簡単に答えが求められる」のところ

机上の整理

緊張していた様子があった

4年生

自分たちで深め合える力を育む

ワークシートの活用がよい手立てとなっていた。(右側の説明)

3人での意見交流ができていた

ワークシートに手順がのっている

見積もりの要因...教科書の吹き出しから読み取る

教科書をもとに個人で考えられていた

プリントが終わった後の指示

課題...let's系の要因は？

ふく式のアドバイス

学習リーダーの活用(進め方の簡単な台本テンプレ)

「びったりにした」概数のよさ

3・4年生指導案交流

グループD

良いなと思う活動は **青** 付箋

質問・代替案は **赤** 付箋

3年生

定型（決まった流れ）に沿って、話し合いができる。

「計算の仕方」という共通の理解があった。

活発に表現していた。

プリントの全体の流れが分かりやすかった。

話し合いの定型はある程度できている。

様式では個人思考の際に机周視で見とれない。

発表力・表現力...発表することが大事では

子どもたちが自分で発表した方がよかった。

目的に合わせた概数の出し方が理解できた。

文章を書いてから交流した方が良い

活動が止まっていた。

指示がうまく伝わってなかったのでは？

目的と概数の出し方と課題が2つあつて理解するのが難しかったのでは？

児童が説明して自分の違うところなどを共有した方がよかった。

【アンケート・タブレットの活用等より】

- ・アンケートそのものについては、紙、フォームどちらでの提出もあった。
- ・感想を頂いた方からは、タブレットでの研修に対して、概ね良い反応でした。まだ使いこなせていないことや話ながら入力することの難しさなどが意見として出ていました。Jamboard での協議は事前準備、事後の業務等、簡略化できる点で非常に便利だと感じます。後は、こうした研修の積み重ねから、より効果的な実践方法が開拓されていくと、より有意義で効率的な研修が進んでいくのではと感じます。

・アンケート期間内で、タブレットを使った研修スタイルは大変だ。

タブレットでの研修は効率化や可視化には有用だと感じました。一方で、全員が持っていないとなかなか難しかったり、話しながら入力しながら、は難しそうだなと感じました。

Jamboard を使った研究協議は初めてだったのでいい経験になりました。グループ協議の内容を共有できるし、協議後の記録も、わざわざ打ち直さなくて済むので楽そうだなと思いました。もっともこの方法が一般化されると、よりスムーズに始められていいなあと感じました。